

注3

大学番号：私147

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

杏林大学 外国語学部 中国語学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 杏林学園
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 八王子事務部教務課

職名・氏名 カチヨウホ サ ヒラモト ミノル
課長補佐・平本 実

電話番号 042-691-8726

（夜間） 042-691-8726

F A X 042-691-1094

e-mail hiramoto@ks.kyorin-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 杏 林 学 園

(2) 大学名

杏 林 大 学

(3) 大学の位置

〒192-8508

東京都八王子市宮下町476番地

(〒181-8611)

(東京都三鷹市新川6丁目20番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(マツダ ヒロハル) 松田 博青 (昭和63年2月)		
学 長	(アトミ ユタカ) 跡見 裕 (平成22年4月)		
学 部 長	(アカイ タカオ) 赤井 孝雄 (平成20年4月)		
学 科 長 等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)

平成25年度に報告する内容 → (25)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の4年制の学科の場合(平成25年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
外国語学部 中国語学科 学士(中国語コミュニケーション学)	4年	30人	3年次 15人	150人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	29人 (-) [3]	1人 (-) []	29人 (-) [2]	1人 (-) []	29人 (15) [2]	1人 () []					0.98倍	その他の学期 定員 1人
志願者数	117 (-) [-]	0 (0) [0]	83 (-) [-]	0 (0) [0]	57 (7) [4(4)]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	111 (-) [-]	0 (0) [0]	82 (-) [-]	0 (0) [0]	54 (7) [4(4)]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	90 (-) [-]	0 (0) [0]	70 (-) [-]	0 (0) [0]	22 (6) [4(4)]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	35 (-) [-]	0 (0) [0]	31 (-) [-]	0 (0) [0]	22 (6) [4(4)]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.16		1.03		0.75							

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 35	[-] 0	[0] 31	[-] 0	[0] 25	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[1] 32	[-] 0	[0] 34	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		/		[4] 30	[]	[]	[]	
4年次	/						/		/		
計			[0] 35	[1] 63	[4] 89	[]					

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	35 人	8 人	平成23年度	3 人	人	「他の教育機関への入学・転学(1名)」「学生個人の心身に関する事情(1名)」 「除籍(1名)」	22.9 %
			平成24年度	5 人	人		
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	31 人	1 人	平成24年度	1 人	人	「除籍(1名)」	3.2 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	22 人	0 人	平成25年度	人	人		0 %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		%
合 計	88 人	9 人					10.2 %

(注)・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください

・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 校地取得のため増加 (25)	
	校舎敷地	165,187.77㎡ 136,727.16㎡	— ㎡	— ㎡	165,187.77㎡ 136,727.16㎡		
	運動場用地	14,570.00㎡	— ㎡	— ㎡	14,570.00㎡		
	小 計	179,757.77㎡ 151,297.16㎡	— ㎡	— ㎡	179,757.77㎡ 151,297.16㎡		
	そ の 他	41,261.32㎡ 34,950.65㎡	— ㎡	— ㎡	41,261.32㎡ 34,950.65㎡		
	合 計	221,019.09㎡ 186,247.81㎡	— ㎡	— ㎡	221,019.09㎡ 186,247.81㎡		
(2) 校 舎	専 用	74,221.81㎡	— ㎡	— ㎡	74,221.81㎡	大学全体	
		(74,221.81㎡)	(— ㎡)	(— ㎡)	(74,221.81㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	92室 93室 92室 90室	演 習 室 105室 121室 105室	実験実習室 37室 35室	情報処理学習施設 9室 (補助職員 人)	語学学習施設 3室 4室 (補助職員 人)	大学全体 語学学習施設1室を講 義室に変更 (24) 講義室1室を就職室講 座スペース、相談プ ースに変更 (25)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	中国語学科			10	室		

(5)	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	【図書】 経年劣化に伴う減少。 (22) 新規購入のため増加。 (23) 経年劣化に伴う減少。 (24) 経年劣化に伴う減少。 (25) 【学術雑誌】 経年劣化に伴う減少。 (22) 経年劣化に伴う減少 (23) 新規購入のため増加。 (24) 経年劣化に伴う減少 (25) 【視聴覚資料】 新規購入に伴う増加 (22) 新規購入に伴う増加 (23) 経年劣化に伴う減少 (24) 新規購入に伴う増加 (25) 【機械・器具】 備品の総数を記載した ため、教具のみに訂正 (23) 経年劣化に伴う廃棄に よる減少 (24) 経年劣化に伴う廃棄に よる減少 (25) 【標本】 記載を訂正 (22)	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
図書・設備	中国語学科	135,648 [44,577]	1,322 [588]	117 [55]	9,000	459	0	【図書】 経年劣化に伴う減少。 (22) 新規購入のため増加。 (23) 経年劣化に伴う減少。 (24) 経年劣化に伴う減少。 (25) 【学術雑誌】 経年劣化に伴う減少。 (22) 経年劣化に伴う減少 (23) 新規購入のため増加。 (24) 経年劣化に伴う減少 (25) 【視聴覚資料】 新規購入に伴う増加 (22) 新規購入に伴う増加 (23) 経年劣化に伴う減少 (24) 新規購入に伴う増加 (25) 【機械・器具】 備品の総数を記載した ため、教具のみに訂正 (23) 経年劣化に伴う廃棄に よる減少 (24) 経年劣化に伴う廃棄に よる減少 (25) 【標本】 記載を訂正 (22)	
		155,929 [53,172]	1,325 [588]	118 [55]	8,677	465	0		
		161,315 [54,541]	1,320 [584]	88 [27]	8,721	467	0		
		158,011 [53,862]	1,535 [668]	206 [44]	8,663	3,359	0		
		169,552 [55,418]	1,608 [669]	1,271 [1,224]	8,592	41,560	526		
		135,648 [44,577]	1,322 [588]	117 [55]	9,000	(459)	0		
		(155,929 [53,172])	(1,325 [588])	(118 [55])	(8,721)	(465)	(0)		
		(161,315 [54,541])	(1,320 [584])	(88 [27])	(8,721)	(467)	(0)		
		(158,011 [53,862])	(1,535 [668])	(206 [44])	(8,663)	(3,359)	(0)		
		(169,552 [55,418])	(1,608 [669])	(1,271 [1,224])	(8,592)	(41,560)	(526)		
計	135,648 [44,577]	1,322 [588]	117 [55]	9,000	459	0	【図書】 経年劣化に伴う減少。 (22) 新規購入のため増加。 (23) 経年劣化に伴う減少。 (24) 経年劣化に伴う減少。 (25) 【学術雑誌】 経年劣化に伴う減少。 (22) 経年劣化に伴う減少 (23) 新規購入のため増加。 (24) 経年劣化に伴う減少 (25) 【視聴覚資料】 新規購入に伴う増加 (22) 新規購入に伴う増加 (23) 経年劣化に伴う減少 (24) 新規購入に伴う増加 (25) 【機械・器具】 備品の総数を記載した ため、教具のみに訂正 (23) 経年劣化に伴う廃棄に よる減少 (24) 経年劣化に伴う廃棄に よる減少 (25) 【標本】 記載を訂正 (22)		
	155,929 [53,172]	1,325 [588]	118 [55]	8,677	465	0			
	161,315 [54,541]	1,320 [584]	88 [27]	8,721	467	0			
	158,011 [53,862]	1,535 [668]	206 [44]	8,663	3,359	0			
	169,552 [55,418]	1,608 [669]	1,271 [1,224]	8,592	41,560	526			
	135,648 [44,577]	1,322 [588]	117 [55]	9,000	(459)	0			
	(155,929 [53,172])	(1,325 [588])	(118 [55])	(8,721)	(465)	(0)			
	(161,315 [54,541])	(1,320 [584])	(88 [27])	(8,721)	(467)	(0)			
	(158,011 [53,862])	(1,535 [668])	(206 [44])	(8,663)	(3,359)	(0)			
	(169,552 [55,418])	(1,608 [669])	(1,271 [1,224])	(8,592)	(41,560)	(526)			
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体 図書館事務室として使 用していた一部を新規 設置部署が使用するこ ととなり、減少(24)	
	4,784㎡		672		432,999				
	5,342-13㎡		681		515,285 439,225				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	12,894.53㎡		野球場1面 テニスコート8面 弓道場1 アーチERY練習場1						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等		708千円	図書購入費	9,467千円	9,508千円	9,902千円	
	共同研究費等		0千円	設備購入費	10,127千円	10,254千円	10,654千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,173千円	920千円	920千円	920千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金収入、手数料収入等を充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	杏林大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	取 定 容 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
医学部									
医学科	6	117	—	657	学士 (医学)	1.00	S45年度	東京都三鷹市新川 六丁目20番2号	
保健学部									
臨床検査技術学科	4	80	2年次 6 3年次 4	346	学士 (保健衛 生学)	1.20	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
健康福祉学科	4	20	2年次 6 3年次 4	146	学士 (保健衛 生学)	1.16	S54年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
看護学科	4	120	2年次 2 3年次 8	462	学士 (看護 学)	1.12	H 6年度	東京都三鷹市新川 六丁目20番2号	
臨床工学科	4	40	—	160	学士 (臨床工 学)	1.23	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
救急救命学科	4	40	3年次 5	170	学士 (救急救 命学)	1.23	H19年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
理学療法学科	4	40	—	160	学士 (理学療 法学)	0.94	H21年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
作業療法学科	4	40	—	120	学士 (作業療 法学)	1.17	H23年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
診療放射線技術学科	4	50	—	50	学士 (診療放 射線学)	1.20	H25年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
総合政策学部									
総合政策学科	4	155	3年次10	685	学士 (総合政 策学)	1.00	S59年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
企業経営学科	4	75	3年次 5	385	学士 (企業經 営学)	1.01	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
外国語学部									
英語学科	4	110	3年次 5	470	学士 (文学)	1.17	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
中国語・日本語学科	4	—	3年次13	—	学士 (文学)	—	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	平成23年より 学生募集停止
中国語学科	4	30	3年次15	105	学士 (中国語 コミュニ ケーション学)	0.98	H23年度	東京都八王子市 宮下町476番地	
応用コミュニケーション学科	4	—	3年次 2	—	学士 (文学)	—	H18年度	東京都八王子市 宮下町476番地	平成23年より 学生募集停止
観光交流文化学科	4	70	3年次 3	286	学士 (観光交 流文化 学)	1.18	H22年度	東京都八王子市 宮下町476番地	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）について，それぞれの学校種ごとに，平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年5月)	外国語学部観光交流文化学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成22年度入学者は93名と入学定員(70名)の1.33倍であった。 平成23年度入学試験においては、一般・センター試験の合格基準点の見直しと入学率を精査し、適正な合格者数を発表した結果、正規合格者で入学定員を満たす結果となった。 入学定員70名に対して、入学者は83名で1.19倍となった。	
設置計画履行状況 調 査 時 (23年5月)	保健学部臨床工学科の入学定員超過の是正に努めること。	保健学部臨床工学科は、平成23年度入学者が66名と、入学定員(40名)の1.65倍であった。 平成24年度入学試験においては、推薦入試、一般入試及びセンター試験の合格基準点の見直しを図り、正規合格者の数を昨年より少なく発表した(正規合格者:23年度128名→24年度78名)。また、補欠者の繰上げ合格を行った際は、入学手続き状況を見ながら、1名ずつ慎重に合格を出した。 その結果、40名の定員に対して、40名の入学者(1.0倍)となった。	
設置計画履行状況 調 査 時 (24年5月)	保健学部臨床工学科の入学定員超過の是正に努めること。	保健学部臨床工学科は、平成23年度入学者が66名と、入学定員(40名)の1.65倍であった。 平成25年度以降の入学試験においては、昨年に引き続き推薦入試、一般入試及びセンター試験の合格基準点の見直しを図り、正規合格者の数を23年度より少なく発表(正規合格者:23年度128名→25年度99名)し、かつ補欠者の繰上げ合格を行う際は、入学手続き状況を見ながら、1名ずつ慎重に繰上合格を出した。 その結果、40名の定員に対して、昨年に引き続き25年度も40名の入学者(1.0倍)となった。	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。(認可で設置された学部学科等のみ。)
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<外国語学部 中国語学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況
常置委員会の中に運営委員会を設置し、その中でFD委員会を設置している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
運営委員会は、毎月1回開催し、学部長、教務部長、学生部長、その他の委員（教員）8名で構成している。

c 委員会の審議事項等
制度に関する事項、学部運営に関する事項、予算に関する事項、将来構想に関する事項、FDに関する事項、について審議している。

② 実施状況

a 実施内容

①授業方法等についての研究会（内部・外部講師による講演会等）

②研究成果の公開

b 実施方法

①内部・外部の講師を招き、授業方法改善の取り組みについての講演会を実施した。

②当年度における学部専任教員の研究成果をまとめ、所定の審査を経て内部・外部へ公開している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

①講演は、年に数回程度実施しており、多数の教員が参加している。

②年1回、多数の教員が研究成果をまとめ、所定の審査を経たものを内部・外部に公開している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
各教員へフィードバックする授業評価アンケート結果や、講演会、授業見学、討論会などで得た知見をもとに、各教員が自ら授業改善策を検討し、各授業で実践している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
原則全科目を対象とし、前期・後期の各最終講義日に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等
教員に対してはフィードバックシートを配付し、学生に対しては公式ホームページで結果を公開している。

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

中国語学科は、次のような趣旨・目的を設定している。

現在の国際情勢のもとで、経済社会はより一層高度でかつ広範な中国語運用能力と問題解決能力を具備した人材を早急に必要としている。この要請に応えるために、既存の「中国語・日本語学科」を母体として新たに独立した学科「中国語学科」として設置した本学科では、社会のニーズに対応できる実践的な中国語運用能力を開発し、高度な知見と技能の修得により、日中間の交流を担う、中国語の高度なコミュニケーション能力を身につけた人材の養成を目的としている。

新学科発足によって、明確な目的意識をもった新生入を受け入れることができた。ガイダンス初日から、学生の意欲が強く感じられ、「既習者クラス」と「ゼロスタートクラス」とともに、設計時の予想以上に良好なスタートを切っている。上級生との交流や、留学説明会などへの積極的な参加がみられる。

初年次教育のクラス担任や、必修として毎日行われる中国語の授業担当教員たちが常に連携をとりながら指導にあたり、5月連休に入る前の大事な時期の学習が効果的に始動できているといえよう。

学科の全専任教員と関連の兼任教員が一丸となって、明確な目標と豊富な実績に基づいた学生指導を進める効果は絶大なものとなることが期待される。

新学科の前身である「中国語・日本語学科」の「中国語ビジネスコミュニケーションコース」との連続性も大切にしている。当該コースの3年生以上の在校生に対しても、選択科目の演習授業の内容に、新学科の構想で明確にされた高度な通訳翻訳関連の演習の内容を取り入れた講義を行い、留学を終了して帰国した3年生や4年生が積極的に履修している。

こうした講義のあることを知って、3年次に編入学してきた学生もおり、また、海外の協定校からの交換留学生なども、これらの科目を履修したいとして、大震災のあとに他大学では留学生激減と報じられる中で、本学科においては、多少の減少に留まっていることから、内外の要請の強さを実感している。

開設2年目ではあるが、上記のことからも、新学科での構想が間違いのないものであると強く感じている。引き続きしっかりとした取り組みを続けていくことで、優れた結果をだせるよう努力を続けたい。

今後一層、広報活動につとめ、志向性の高い志願者の発掘に注力することが肝要である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・年1回公表している。

b 公表方法

・監督官庁をはじめ他大学等に配布している。また、大学ホームページ上でも公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成20年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受けたところであり、次回7年以内に評価を受けるべく、今後検討を行っていく。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(H25年8月予定)